



No.55

長野県看護大学学報



「駒ヶ根市長と語る会」が開催されました!!

2022年11月28日（月）に本学大会議室において、伊藤祐三駒ヶ根市長と語る会が開催されました。学生14名が参加し、駒ヶ根市の魅力や地域との関わり方、まちづくりなどについて意見交換を行いました。また、本学の「まちづくりサークル」が、イベントでのボランティア活動や健康増進を目的とした講座の企画などに取組んでいることを報告しました。地域や地域住民とのつながりについて見つめなおす大変良い機会となりました。



伊藤 祐三 駒ヶ根市長



まちづくりサークルの報告



看護職のキャリアアップと「CNS（専門看護師）」

看護系大学に入って、その後に「看護師・保健師・助産師国家試験」に合格して、晴れて看護師、保健師、助産師として様々な場で働き始めます！ 仕事に慣れてきた頃に、次のステップとして目指すものは何なのでしょう。つまり「看護職のキャリアアップって何？」が本稿でお伝えすることです。

現代の医療は凄まじい勢いで高度化・複雑化し、仕事が細分化する中で、多くの医療専門職がプロフェッショナルとして知識・技術を深化させています。また患者・家族の願いや希望は多岐に渡り、看護師自身の勉強（自己研鑽）が求められます。

看護職の世界でのスペシャリストには、大きな資格として「専門看護師（Certified Nurse Specialist : CNS）」と「認定看護師（Certified Nurse : CN）」があり、がん看護・精神看護・小児看護・老人看護などCNSは14分野、CNは19分野があります。この資格をとるためには5年以上の看護師経験の後、CNSは大学院で学んだ後に試験を受けることになります。本学の大学院には、老人看護・小児看護・精神看護・がん看護CNSの教育課程があります。CNも半年～1年の研修の後に試験を受けることになります。

皆さんには是非、「自分は看護師になったらどの分野でどんなふうに仕事をしていきたいかな」と夢を膨らませ、『私がやりたい看護、私だからこそできる看護』をスペシャリストとして追及してみてください。

小児看護 CNS コース

現在小児看護CNSコースの修了生は9名おり、そのうち6名が小児看護CNSの認定を受け、臨床現場で活躍しています。当教育課程には専攻分野の指定がありませんので、小児看護全般を網羅する教育内容になっています。その中で、各自が自身の得意とする分野（例えば、小児がん、障がい児など）の学びを深め、実践することになります。そのため、修了後の実践現場は、小児専門病院、大学病院、がんセンターなど様々です。長野県内では、2名が総合病院に所属しており、病児だけでなく、家族が病気の子どもへのケアなど、幅広く対応しています。

小児看護学分野 准教授 竹内 幸江

小児看護CNSの活躍（伊那中央病院）



プレパレーションの様子

検査を受ける子どもへ検査方法などを説明している。



コンサルテーションの様子

重症心身障がい児の受持ち看護師からケアについての相談に応じている。

老人看護 CNS コース

博士前期課程に位置付け、老人看護CNSコースを開始し19年が経ちました。当教育課程は、「認知症老年看護」と「在宅における老年看護」を専門とし、現在3名の学生が学んでいます。このコースに入学を希望する方は、臨床経験が比較的長い方が多く、近年では認知症看護認定看護師として活動してきた方がさらなるキャリアアップを目指して入学されています。修了された方は、臨床の場で、院内教育や看護スタッフの相談を受けるなどの活動をしています。管理職（看護師長、副看護部長）とされている方も出てきています。

老年看護学分野 教授 渡辺 みどり

精神看護 CNS コース

本学大学院の精神看護CNSコースは、2013年度に認定されました。本学にはCNS資格を有する実践経験豊富な教員もあり、院生の皆さんの学びを支えています。実習では、精神看護CNSとしての実践能力を培うために、スーパービジョンを受けながら、特に救急・急性期における直接ケア、コンサルテーション、コーディネーション、患者・家族および集団の権利を擁護できる倫理的感性を磨く倫理調整について学びます。臨床で気になっていること、行き詰っていることについて学んでみませんか。

精神看護学分野 教授 有賀 美恵子

がん看護 CNS コース

本学大学院のがん看護CNSコースは、2022年春にスタートしました。日本人の2人にひとりが「がん」になる時代になり、病院の中（あるいは在宅）には多くの「がん患者さん」がいます。「がん」は治る病気にはなっていますが、その治療を受け続けることは身体的にも精神的にも、そして社会的（治療費が高い）にも過酷です。だからこそケアが重要であり、高度実践看護師（CNS）が求められるのです。他のCNSコース同様に「直接ケア」の技をはじめとして、「相談」や様々な「調整」そして「倫理調整」まで多くのことを学びます。

成人看護学分野 教授 柳原 清子



がん看護CNSコース 演習の様子

新任教員紹介



写真左：宮尾助手、右：河上助手

2013年に本学の感染管理認定看護師教育課程で学び、その後病院感染管理業務に従事してきました。コロナ禍にある医療現場で必要とされる感染管理特定認定看護師の養成をサポートさせていただきたいと思います。

認定看護師教育課程 感染管理分野 助手 宮尾 愛

学生の皆さんが少しでも母性看護や助産師に興味を持てるよう、臨床で経験したことを伝えていければと思います。教員として学生の皆さんに関わるのは初めてなので、至らぬ点もあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

母性・助産看護学分野 助手 河上 みづほ

新設科目のご紹介「里山看護概論」「里山看護演習」

「里山看護概論」「里山看護演習」は、2022年度より本学の新設科目となりました。この科目では、公衆衛生学や文化人類学の分野にも視野を広げ、里山の人々の健康支援について学際的に学びます。「里山看護概論」では、これまで里山で行われてきた医療・看護活動の歴史、社会的文化的背景から成り立つ人々の暮らしの多様性や、保健医療福祉の現状および課題等について学修します。また、「里山看護演習」では、実際に地域（里山）に出向いて行う学外演習を予定しています。地域の自然や社会的文化的な諸要素と人々の健康および疾病の相互関係について、学際的に考えます。演習のグループワークでは、自然環境や社会環境を含めて人々の健康や暮らしを捉え、里山の人々の健康を支える方法と看護職のあり方を考えます。



長野県の里山にある集落

健康・保健学分野 准教授 吉村 隆

新カリキュラムと「国際看護学」

2021年度に行われたカリキュラム改正に伴い、「国際看護学Ⅰ」を必修科目として位置付けました。内容的には大幅な変更はありませんが、同年に検討したDP(ディプロマポリシー)の7つ目の目標(国際的視点での思考力)の達成のため、学生全員が受講しグローバルな視点で生活や環境を捉え、看護に活かすねらいがあります。昨今話題になっている「SDGs」も元はと言えば、世界の人々の健康や幸せを目標にした「MDGs(2000～2015年)」に続き、国連より発信されたものであり、国際保健の動向として「国際看護学Ⅰ」の中で学びます。全ての学生が本科目を学ぶことになり、多様性や多文化社会における看護の使命を考える機会にしたいと思います。

基礎看護学分野 教授 望月 経子

看護DX教育準備プロジェクト

近年、「DX」(デジタルトランスフォーメーション：デジタル革新)を活用することで効果的な看護教育を目指す動きが進められています。今年度は、本学の教育理念・目標を踏まえ、また、長野県の看護職者の現状と将来展望を見据え、看護DX教育準備プロジェクトを立ち上げました。日本看護系大学協議会において、看護DX教育も含めた将来の看護基礎教育の検討ワーキングの座長をされた吉沢豊子先生(東北大学)をお迎えし、8月に教職員向けの研修会を行いました。9月には「コロナ禍の看護教育を語り合おう」をテーマに本学の看護教育のDX化の現状を確認するために、ワークショップを開催しました。その他、卒業生・修了生を対象とした教育評価とニーズ把握のための調査、県内看護職の現状とニーズ把握のための調査についても実施予定です。少しずつですが本学独自の看護DX教育を作り上げていく準備を行っています。



ワークショップの様子

看護DX教育準備プロジェクトメンバー(地域・在宅看護学分野 講師) 小野塚 元子

》キャリアガイダンスⅡの紹介

Career guidance Ⅱ

8月5日に2年生を対象にキャリアガイダンスⅡが行われました。このガイダンスの目的は、卒業生から在学中の学習活動、就職活動、現在の仕事への取組みについてお話いただき、在学生の進路意識を深めることです。今年度は、信州大学医学部附属病院看護師の白鳥魁人さん、辰野町役場保健師の樋屋小春さん、伊那中央病院助産師の中村友美さんにお越しいただきました。在学生の皆さんにとって将来のビジョンを明確にするための機会になれば嬉しいです。

学生委員会（老年看護学分野 助手） 横山 仁美



卒業生からのメッセージ

キャリアガイダンスⅡでお話をさせていただき、私自身も学生時代のことや就職のきっかけ等改めて振り返る機会となりました。実習、就職活動、国家試験の勉強など忙しい日々とは思いますが、様々なことに興味をもち、ぜひ学生のうちにしかできない事をたくさん経験してください。人との出会いを大切に、これからの将来に向けて頑張っていただければと思います。応援しています。

辰野町役場 保健師 樋屋 小春さん



先日はありがとうございました。助産師に少しでも興味を持つ機会となっていたら嬉しいです。私も日々業務で忘れかけている初心を思い出し、大変良い時間を頂いたことに感謝しています。学生時代は、自分の嫌なことや苦手なこととも向き合わなければならない時があります。そのような状況でも、皆さんが抱き続けている目標や夢に忠実であってほしいと思います。辛くて悲しいときは無理せず、少し休憩をして自分を大切にしてください！ 応援しています。

伊那中央病院 助産師 中村 友美さん



学生の感想

現役の看護師、保健師、助産師の先輩方から直接お話を聞く機会でした。私は保健師に興味をもっていたため、今回のお話を聞いて、保健師の仕事は地域の状況や担当する課によって保健活動が違ってくことを知り、様々な選択肢を見出すことが出来ました。また就職活動や国家試験の対策についても体験談を聞くことができたため、とても勉強になりました。

看護学部2年生 宮前 萌実さん

キャリアガイダンスでは、助産師、保健師、看護師の方からそれぞれの職業の内容をお聞きすることができました。実際の具体的な活動を知り、そんな活動もあるのかと感ずることもありました。そのため、これからさらに職業について調べ、自分がどこで働きたいか、何の職につきたいかなど真剣に考えていきたいと思っています。

看護学部2年生 守屋 実咲さん



北山前学長名誉教授授与式

名誉教授の称号記を頂いてからはや4か月余りが過ぎました。先日奥能登の実家で長らく独り住まいしていた卒寿間近の母を見舞った折、いよいよ厳冬を前に母は地元の老人施設に入所することを決めました。入所の二日前、“パーマと床屋に連れてってほしい”というので、玄関先から車に誘導する折、実に半世紀ぶりに母の手を握りました。その瞬間、“なんて柔らかくて温かいんだろう”と思わずドギマギしてしまいました。ふと詩人中原中也が臨終前「お母さん、僕は本当は孝行者だったんですよ」と語りかけたという情景がリアルに浮かんできました。私にとって人生の貴重な26年間を過ごした長野県看護大学は格別の存在です。これからもいち名誉教授として、愛してやまない長野県看護大学の発展を見守って参りたいと存じます。

名誉教授（前学長）北山 秋雄 先生



【海外だより】

<ラオスから>

ラオス人民民主共和国は、アジアで最も貧しい国のひとつです。しかし近年は鉱山開発や水力発電といった資源産業を中心に経済成長を遂げています。これまで同国ではマラリアや栄養関係の調査を実施しましたが、現在は特に、社会変化の只中にある若者や児童の状況について関心を持っています。この2年程は新型コロナウイルス感染症のため現地に行くことができなかったものの、協力機関のラオス国立大学教育学部と連絡を取りつつ昨年9月に渡航することができました。中断していた共同研究プロジェクトの調査の他、関係機関への表敬、打ち合わせ等を行いました。閉鎖されていた小学校や中学校も今年から再開されており、生徒たちが元気に学ぶ様子を見ることができました。



健康診断の結果を友達と見せ合う

健康・保健学分野 准教授 秋山 剛

<タンザニアから>

タンザニアヘチンパンジーの調査に行ってきました。調査で気をつけなければならないのは感染症です。チンパンジーはヒトに似ているので、ヒトの感染症をチンパンジーにうつしてしまう恐れがあるのです。そのため調査地では10年以上前からマスクをつけ、距離を十分にとって観察するようにしています。今回はさらに注意しました。コロナ禍はタンザニアでは終息しているようで、街では誰もマスクをしていません。しかし日本はまだコロナ禍で、私が日本からウイルスを持ち込む恐れがあります。そこでタンザニアの病院で検査をしました。タンザニアでは検査情報が国のシステムにネットで直結しており、スマホでアクセスすることで私の陰性結果を簡単に確認することができました。日本とは異なるコロナ対策を経験し、学びのある調査でした。



のんびりくつろぐチンパンジー

社会・人類学分野 准教授 座馬 耕一郎

Kandaigram 2022.7～2022.12



7/11 生協学生委員会 セタ企画



9/3 鈴風祭（オンデマンド配信）



10/28 防災訓練



11/25 卒業研究発表会
(基礎看護学分野)



11/27 秋の落ち葉一斉清掃



12/1 動物慰霊祭

オープンキャンパス

新型コロナ第7波の中、8月10日にWebオープンキャンパスを実施しました。160名の高校3年生が参加しました。大学紹介を行い、模擬授業では国際看護学の講義を、学生生活については学生が作成した動画や寮の様子なども紹介しました。

公開講座

9月10日、「地域で豊かに暮らし続けるための支え合いと認知症連携ケア」を演題に、今年4月に就任した大塚眞理子学長による第1回公開講座を開催しました。今回は、新型コロナ第7波の影響で、急遽オンライン形式に変更されたにも関わらず、160名余という多くの皆様にご参加いただきました。



おれんじネットフレンズ会員様宅での視聴の様子

【追悼のことば】 ………

2022年11月8日に、母性・助産看護学分野の向山 優先生がご逝去されました。

向山先生が看護の道を歩むきっかけとなったのは、幼少期の長野県看護大学の学生との出会いだったそうです。思い出すたびに心温まるその看護学生が通った本学での勤務に特別の縁を感じ、勤務することを大変喜んでおられました。お名前の通りの優しさと、助産師としての熱い志を兼ね備えた向山先生は、我々にとってかけがえのない存在です。向山先生との出会いを心より感謝し、教職員一同、謹んで哀悼の意を表します。

成人看護学分野 熊谷理恵講師が、人命救助により飛騨市長から感謝状を贈呈されました。

「男の人が倒れている!!」と大きな声が聞こえた突然の出来事でした。その男性の呼吸や循環動態の確認、AED装着、心臓マッサージをすると、全身チアノーゼは一気に改善し、救急隊到着時には意識もかなり戻っていました。その男性はすでに社会復帰しており、心から助かってよかったと思います。



2022年度 第2回公開講座

テーマ

未来の自分の作り方

～今を知ってこれからの自分のライフプランについて考えてみましょう～

日時

2023年2月23日（木・祝） 13:00～14:30
オンライン開催（Zoom）

対象

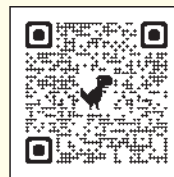
中高校生～30才代

講師

長野県看護大学 母性・助産看護学分野
教授 古川 亮子

参加申込

QRコードから事前に申し込みをお願いします。



参加申込み
QRコード

第19回長野県看護大学研究集会

日時

2023年3月17日（金） 9:00～16:00（予定）
オンライン開催（Zoom）

プログラム

午前の部

- ・講演 テーマ「キズに負けない健やかな肌」
講師 長野県看護大学 基礎看護学分野 講師
近藤 恵子（皮膚・排泄ケア認定看護師）
- ・看護職者の院内研究発表ほか

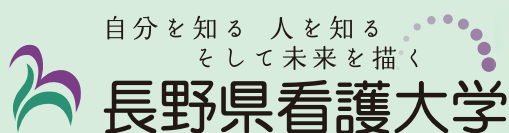
午後の部

- ・参加者同士の交流会



研究集会ホーム
ページQRコード

申込方法やプログラムの詳細は、研究集会ホームページをご覧ください。



〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂1694 TEL 0265-81-5100 <https://www.nagano-nurs.ac.jp/>



長野県看護大学学報
No.55（令和5年1月）

編集・発行
長野県看護大学 広報・交流委員会